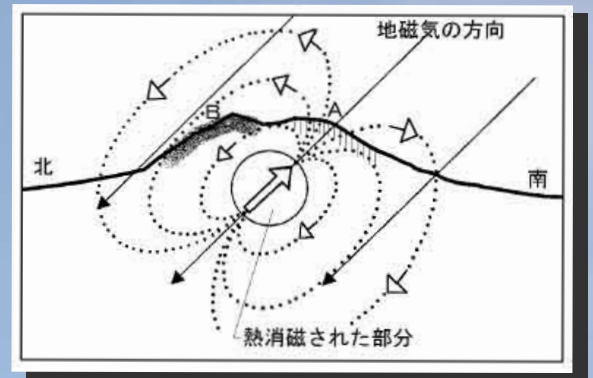




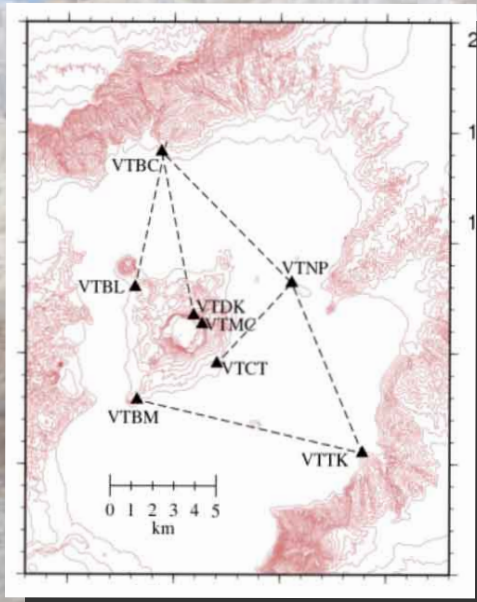
# 火山監視システム

地磁気の方法は日本付近では南から北に伏角45°になります。山の中心部で熱消磁が起こることは相対的に地磁気に逆向きに磁化を生じたと考えることができます。このため山の南側のA点では地磁気を減少させ、北側のB点では地磁気を増加させることとなります。これにより火山の南北に設置することで、現象としての信頼性を高めることが可能です。

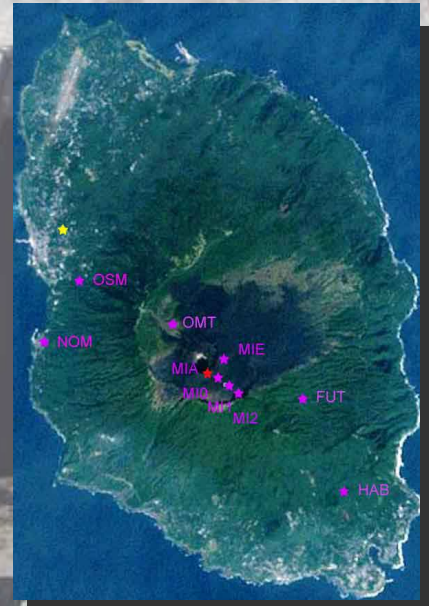
有限会社テラテクニカはオーバーハウザー磁力計およびプロトン磁力計を用いた火山観測に20年以上の実績があります。データ記録、伝送、太陽電池電源システムを用いたシステムの構築へのソリューションを提案致します。



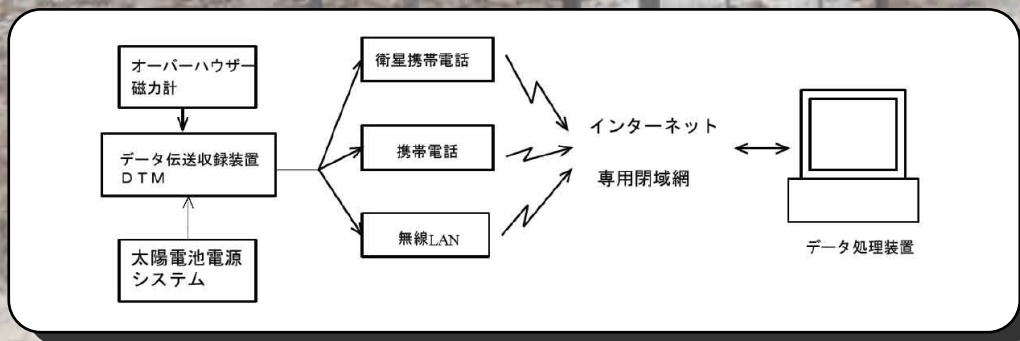
熱消磁による全磁力変化  
(気象庁様)



フィリピンタール火山  
(防災科学研究所様)



伊豆大島三原山  
(東京大学地震研究所様)



準リアルタイム火山監視データ伝送システム